

資料 ②

## 第2章 関係者意見の把握



## 第2章 関係者意見の把握

### 1. 市民及び中学生アンケート

#### 1) 市民アンケート

市民アンケートは、「塩田庁舎及び周辺公共施設との関わり」及び「塩田庁舎周辺の将来像」並びに「塩田庁舎の利活用」に関する意見等を基本構想に活用することを目的として実施しました。

アンケートの対象は塩田町にお住まいの全世帯とし、できるだけ多くの方の考えを反映できるように、世帯主及び世帯主以外で同居される18歳以上の方に回答していただけるように作成しました。

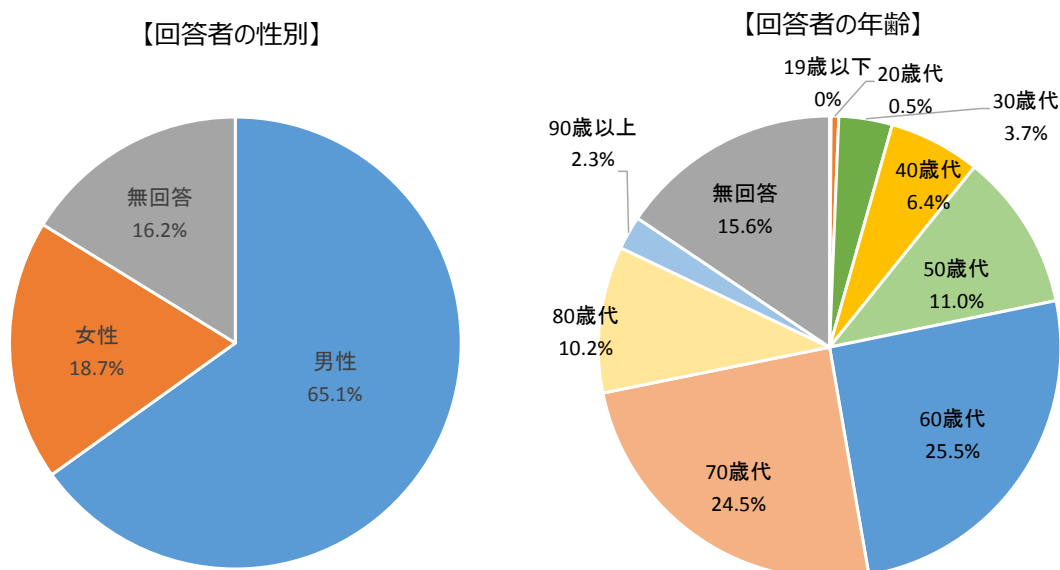
#### ① 調査方法

- 調査対象：塩田地区4コミュニティに居住する3,289世帯
- 調査期間：令和5年4月14日～令和5年5月12日
- 回収結果

コミュニティ	配布数	回収数	回収率
五町田	973	223	22.9%
久間	1,099	253	23.0%
塩田	851	229	26.9%
大草野	333	65	19.5%
その他	33	—	—
無回答	—	167	—
計	3,289	937	28.5%

#### ② 回答者の性別及び年齢

回答者の性別については「男性」が全体の6割半ば、「女性」が2割弱となっています。また、回答者の年齢別では60歳以上が6割以上を占め、内訳は「60歳代」と「70歳代」がほぼ同じで、合わせて全体の約半数を占めています。



### ③ 設問の構成

アンケートで調査した設問は、塩田庁舎及び周辺施設をどの程度利用しているか、また、塩田庁舎周辺で必要と感じている機能などの今後のあり方や施設の活用方法などについてお聞きしました。

【市民アンケートの設問構成】

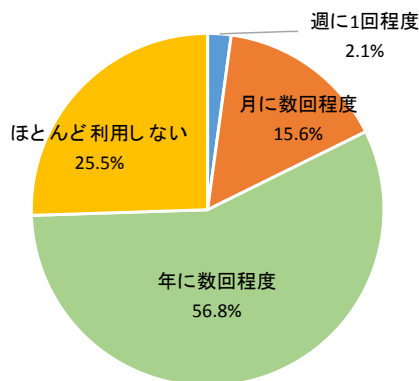
- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| (ア) 塩田庁舎の利用状況    | (ク) 塩田庁舎周辺の伝統・文化・芸術機能 |
| (イ) 図書館の利用状況     | (ケ) 塩田庁舎周辺の出会い・交流機能   |
| (ウ) 歴史民俗資料館の利用状況 | (コ) 塩田庁舎周辺の地域活性機能     |
| (エ) 塩田公民館の利用状況   | (サ) 塩田庁舎周辺の健康・子育て機能   |
| (オ) 保健センターの利用状況  | (シ) 塩田庁舎周辺の風水害対策      |
| (カ) 交通手段         | (ス) 塩田庁舎の利活用          |
| (キ) 塩田庁舎周辺の将来像   | (セ) 塩田庁舎の具体的な活用方法     |

### ④ 調査結果の概要

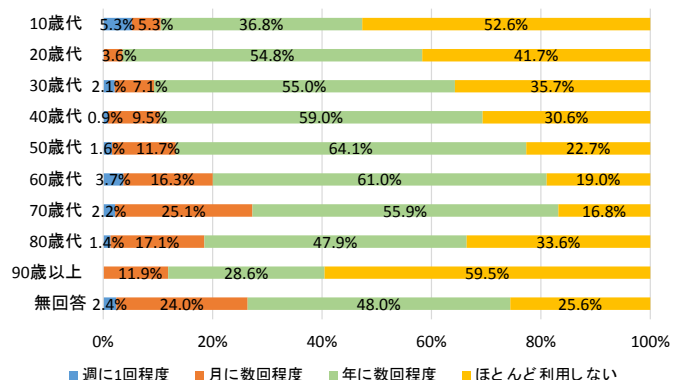
#### (ア) 塩田庁舎の利用状況

「月数回」「年数回」を含めると、30～80代が6割を超えて利用しています。庁舎に行く目的は、「証明書」、「各種申請」、「相談窓口」が多く、一方で自由意見は、「サービス時間の延長」や「土日祝祭日の開庁」を望む意見が多くみられます。

【塩田庁舎の利用状況】

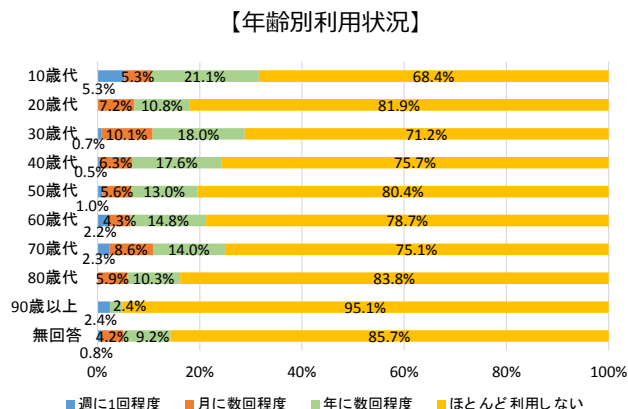
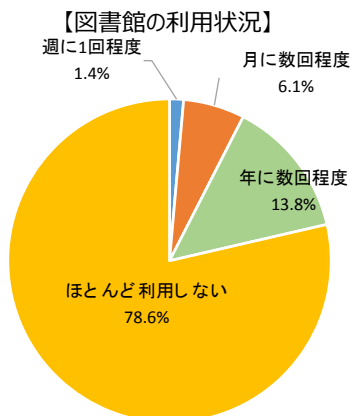


【年齢別利用状況】



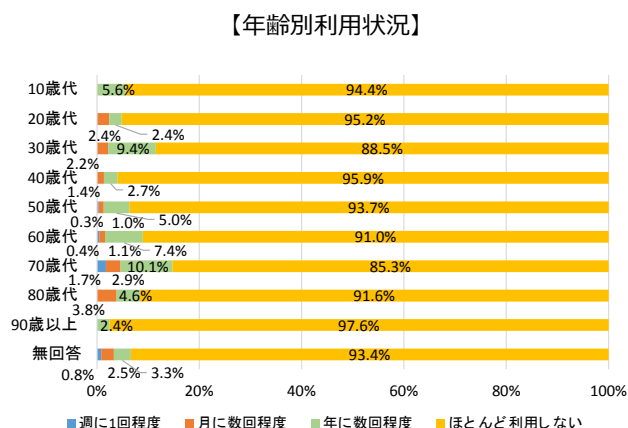
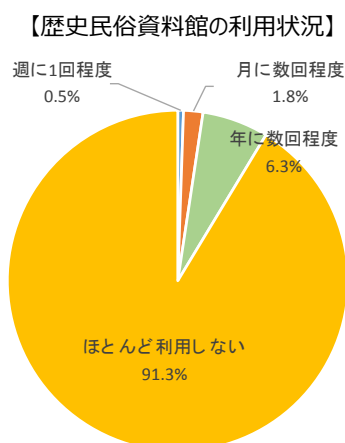
(イ) 図書館の利用状況

「年数回」を含め、回答者の約 2 割が図書館を利用していますが、その中で 10 代の利用率が最も高くなっています。自由意見では、利便性や快適性に関する意見が多くみられます。



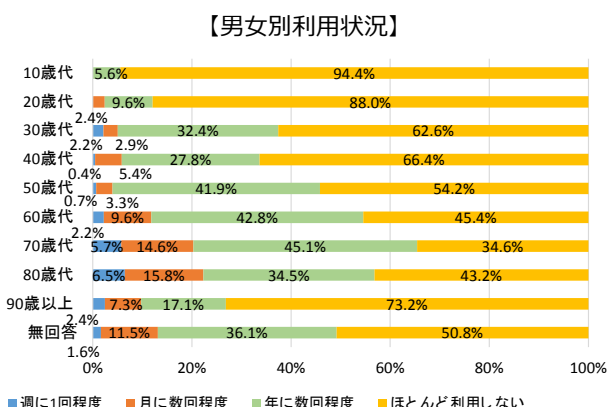
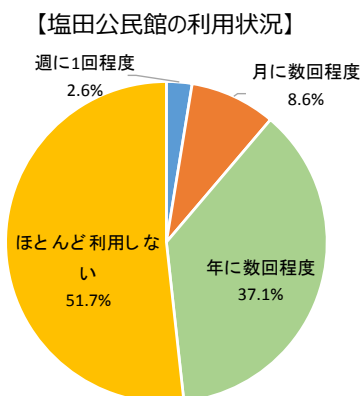
(ウ) 歴史民族資料館の利用状況

約 9 割が「ほとんど利用しない」と回答しており、他の施設に比べて利用率は低い結果となっています。自由意見では、展示スペースの拡大や照明設備の改善等に関する意見があります。



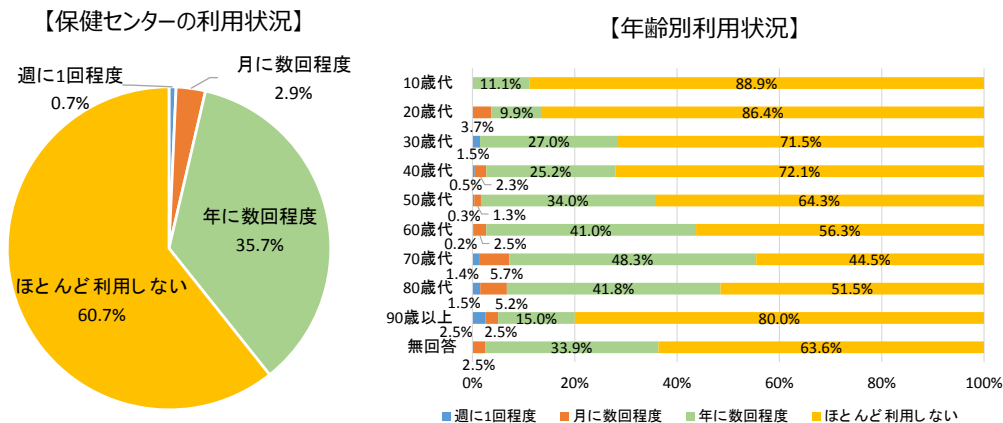
(エ) 塩田公民館の利用状況

さまざまな教室、サークル等の参加や福祉サービス等で利用する年代の利用率が高く、年齢層が高い世代ほど月に数回以上は利用しています。自由意見では、老朽化等による設備の改善等に関する意見が多くみられます。



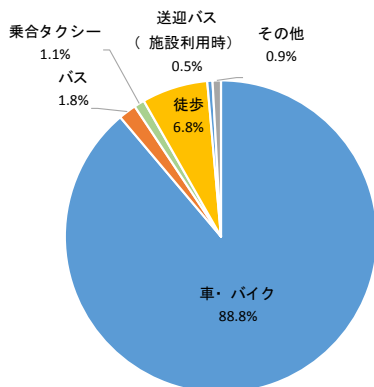
(オ) 保健センターの利用状況

年齢別で利用率が異なっており、年齢が高くなるに連れて利用度が上がっています。自由意見では、体力づくりに関する運動の指導やオープンスペースの提供サービス等による意見があります。



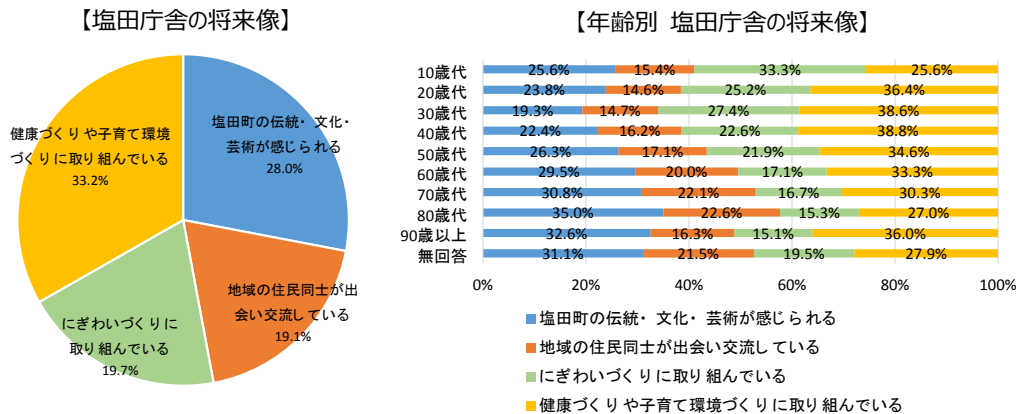
(カ) 交通手段

庁舎及び周辺公共施設を利用する際は約9割の回答者が主に車やバイクによる交通手段で利用されています。



(キ) 塩田庁舎周辺の将来像

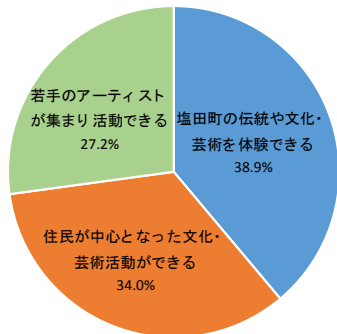
回答者の年齢を問わず「健康づくり・子育て環境づくり」、年齢が若い層は「にぎわいづくり」、年齢が高い層は「伝統・文化・芸術」が重要と考えられています。自由意見では、交流に関する意見や文化に関する意見が多くなっています。



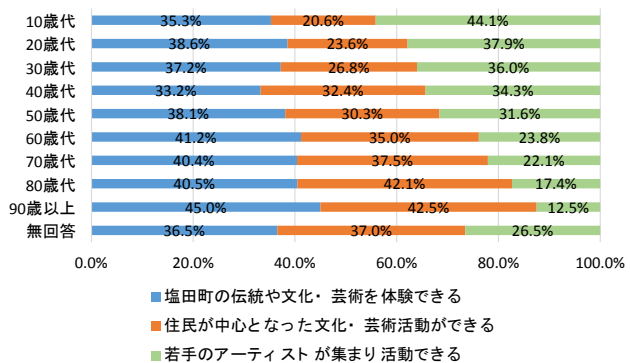
### (ク) 塩田庁舎周辺の伝統・文化・芸術機能

回答者の年齢を問わず「塩田町の伝統や文化・芸術を体験」、年齢が若い層は「若手アーティストが集まり活動」、年齢が高い層は「住民が中心となった文化・芸術活動」が必要とされています。

【塩田庁舎周辺の伝統・文化・芸術機能】



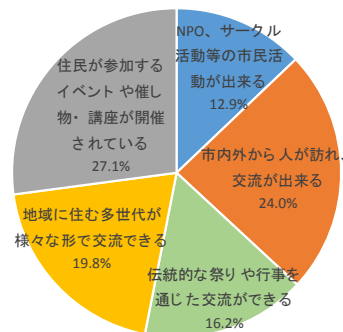
【年齢別 伝統・文化・芸術機能】



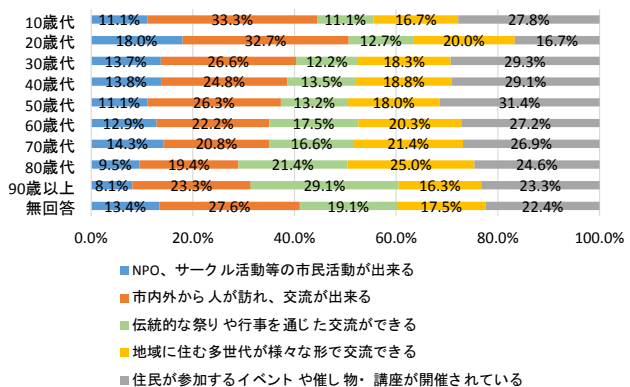
### (ケ) 塩田庁舎周辺の出会い・交流機能

10～20代は「市内外から人が訪れ、交流」、30～50代は「住民が参加するイベントや催し物・講座が開催」、年齢が高い層は「伝統的な祭りや行事を通じた交流」が必要とされています。自由意見では、婚活や食に関するイベントに関する意見が多くなっています。

【塩田庁舎周辺の出会い・交流機能】



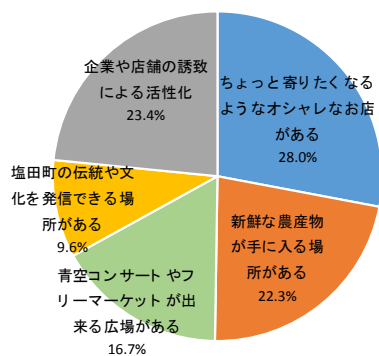
【年齢別 出会い・交流機能】



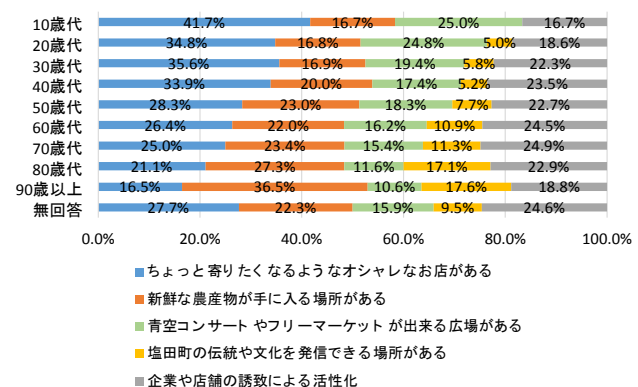
### (コ) 塩田庁舎の地域活性機能

年齢が若い層は「ちょっと寄りたくなるようなオシャレなお店」・「青空コンサートやフリーマーケット」、年齢が高い層は「新鮮な農産物が手に入る場所」・「塩田町の伝統や文化を発信できる場所」が必要とされています。自由意見では、移動販売や施設の誘致に関する意見が多くなっています。

【塩田庁舎周辺の地域活性機能】



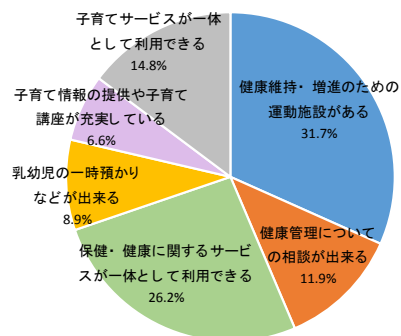
【年齢別 地域活性機能】



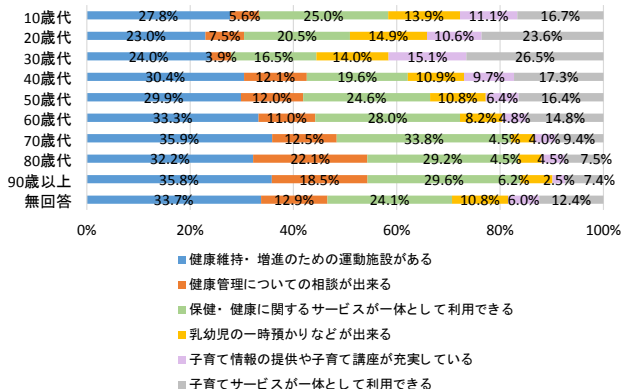
(サ) 塩田庁舎周辺の健康・子育て機能

20～30代の子育て世代は「子育てサービスが一体として利用できる」、年齢が高い層は「健康維持・増進のための運動施設」・「保健・健康に関するサービスが一体として利用」が必要と考えられています。自由意見では、施設の誘致や子育て支援サービスに関する意見が多くなっています。

【塩田庁舎周辺の健康・子育て機能】



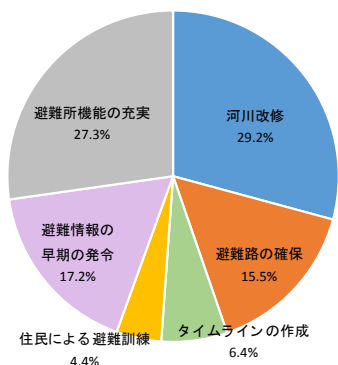
【年齢別 健康・子育て機能】



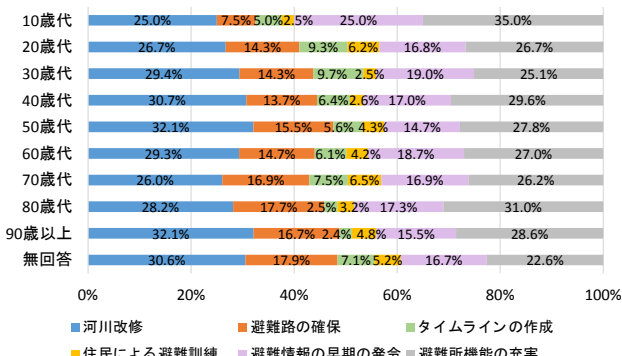
(シ) 塩田庁舎周辺の風水害対策

「河川改修」・「避難所機能の充実」世代による意見の特徴はあまり見受けられませんが、他の設問に比べて自由意見が多く、風水害対策に対する住民の関心は高くなっています。避難所の機能に関しては特に女性が重要視しており、自由意見も多くなっています。

【塩田庁舎周辺の風水害対策】



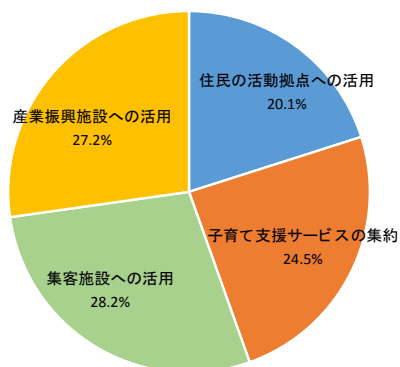
【年齢別 風水害対策】



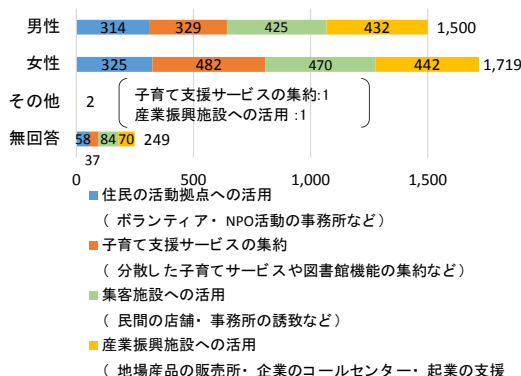
(ス) 塩田庁舎の利活用

回答者の年齢を問わず「集客施設への活用」・「産業振興施設への活用」に対する重要度の意識が高くなっています。特に「子育て支援サービスの集約」においては、女性の割合が高くなっています。

【塩田庁舎の利活用】



【男女別 塩田庁舎の利活用】

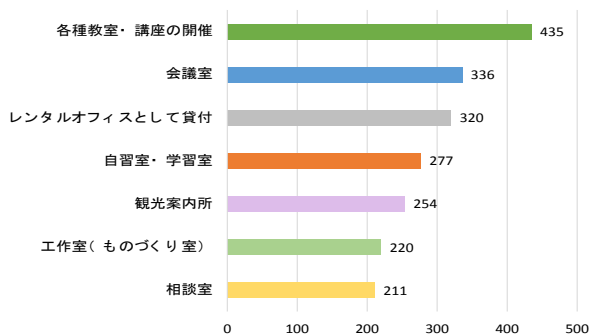




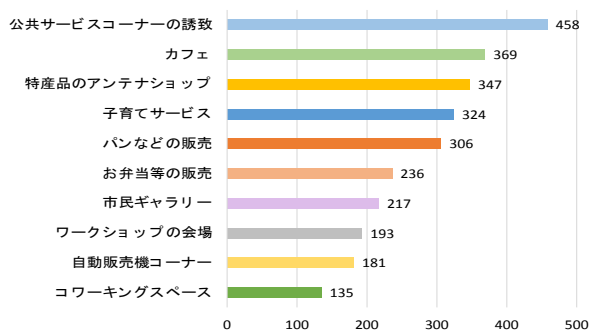
(セ) 塩田庁舎の具体的な活用方法

会議室・諸室については、講座等の開催による活用法が多く、オープンスペースでは、郵便局などの公共サービスコーナーの誘致が高くなっています。

【会議室・諸室の利活用】

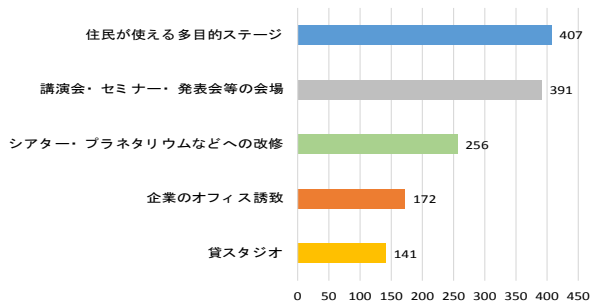


【オープンスペースの利活用】

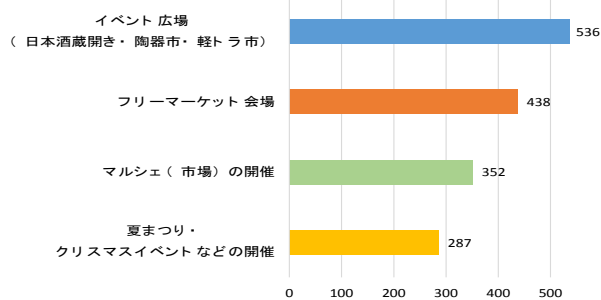


議場の活用においては住民に開放した多目的ステージや講演会等の会場、駐車場スペースにおいてはイベント広場としての活用が多くなっています。

【議場の利活用】



【駐車場スペースの利活用】



## ⑤ 市民アンケートのまとめ

塩田庁舎等周辺公共施設の利用状況として、月に数回以上が10%を超える施設は、塩田庁舎と公民館のみでした。年に数回程度は健康診断やイベントなど施設に特化した利用と思われます。また、施設利用時の交通手段は約9割が車やバイクとなっていました。

塩田庁舎周辺の将来像としては、「健康づくり・子育て環境づくり」、「にぎわいづくり」、「伝統・文化・芸術」、「住民同士の交流」それぞれが重要と考えられています。

「健康づくり・子育て環境づくり」に関しては、健康維持・増進のための健康施設や保健・健康・子育てに関して一体的に利用できるサービスが望まれています。

「にぎわいづくり」では、ちょっと寄りたくなるようなおしゃれな店、企業や店舗の誘致、新鮮な農産物が手に入る場所、フリーマーケットができる広場など、新しい店舗誘致や、これまでにない機能が望まれています。

「伝統・文化・芸術」では、塩田町の伝統・文化・芸術の体験や住民が中心となった文化芸術活動など、体験型を重視する傾向がみられました。

「出会い・交流」では、住民が参加するイベントや催し物の開催、地域の多世代が交流することへの関心が高く、市内外から人が訪れる交流を望む声が多くありました。

塩田庁舎周辺の風水害対策では、河川改修のほか避難所の充実を望む声が多くありました。

塩田庁舎の利活用に関しては、「集客施設への活用」、「産業振興施設への活用」、「子育て支援サービスの集約」、「住民の活動拠点への活用」それぞれを重要と考えていますが、特に女性において「子育て支援サービスの集約」を望む声が多くありました。

塩田庁舎の具体的な活用方法については、会議室・諸室は講座等の開催による活用が多く、オープンスペースでは、郵便局などの公共サービスコーナーの誘致、議場の活用は住民に開放した多目的ステージや講演会等の会場、駐車場スペースはイベント広場としての活用という意見が多くありました。

## 2) 中学生アンケート

中学生アンケートは、塩田中学校に通う生徒さんを対象に、塩田庁舎周辺の活用状況や、塩田町のイメージ、そして、塩田庁舎を今後どのように利活用したら最も地域のためになるかなどについて調査を実施しました。

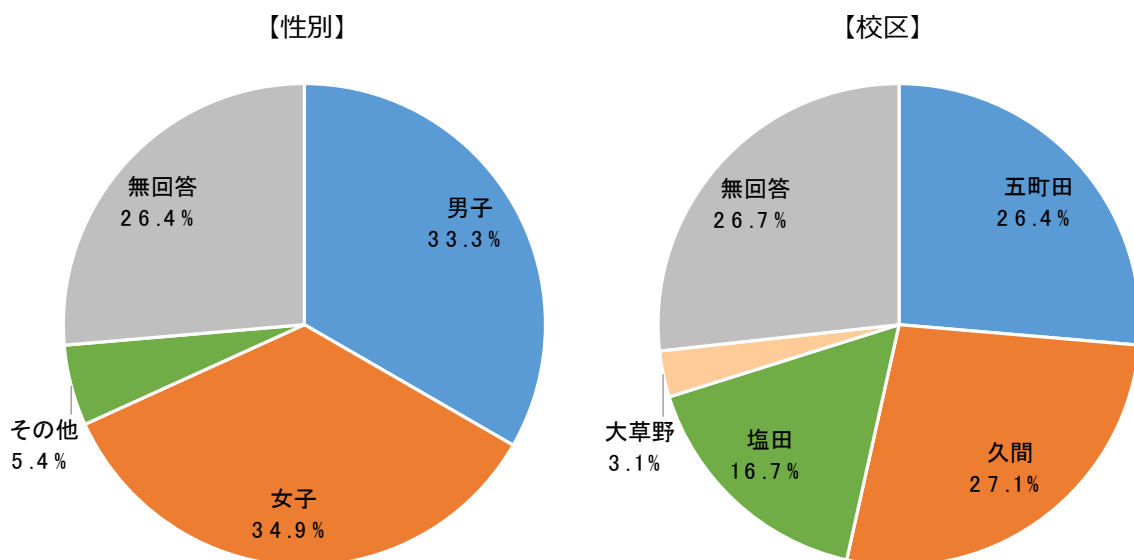
### ① 調査方法

- 調査対象：塩田中学校に通う生徒（1～3年生）
- 調査日：令和5年7月20日
- 回収結果：

学年	配布数
1年生	92
2年生	89
3年生	77
計	258

### ② 回答者の属性

男女別に見ると、「男子」「女子」共に3割半ばとなっています。居住する4校区については、「久間」「五町田」校区が3割弱で最も多く、次いで「塩田」校区の2割弱となっています。



③ 設問の構成

アンケートで調査した設問は、塩田庁舎及び周辺施設をこれまでに利用した事があるか、また、塩田町のイメージや、これから特に取り組んでいくべきだと思う事、庁舎の余裕スペースの利活用イメージなど、今後の施設の活用方法などについてお聞きしました。

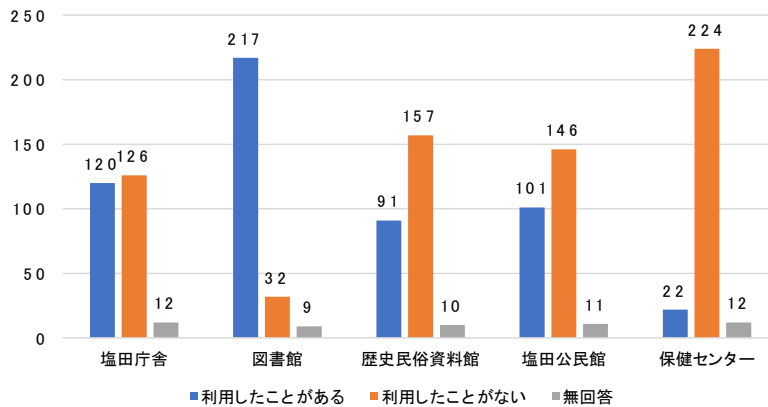
- 【中学生アンケートの設問構成】
- (ア) 塩田庁舎及び周辺施設の利用状況
  - (イ) 塩田町のイメージ
  - (ウ) 塩田町で特に取り組んでいくべきだと思うイメージ
  - (エ) 塩田庁舎の利活用

④ 調査結果の概要

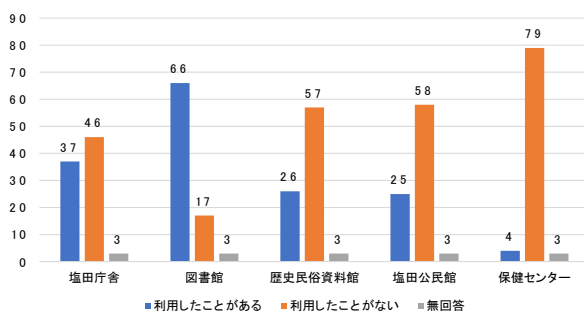
(ア) 塩田庁舎及び周辺公共施設の利用状況について

庁舎及び周辺公共施設の利用状況については、読書や学習として多くの学生が利用している図書館の利用状況が最も高く、次いで塩田庁舎の利用となっています。男女別に見ると、どの施設においても女子の利用度が高くなっています。

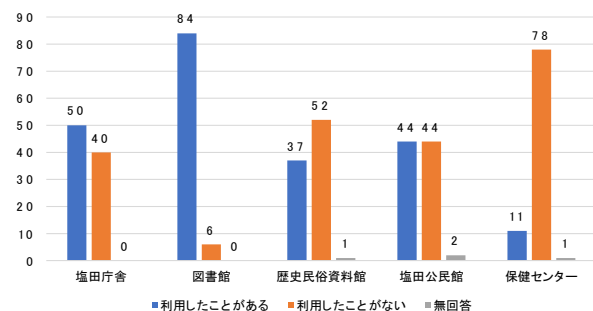
【塩田庁舎及び周辺公共施設の利用状況】



【男子の利用状況】

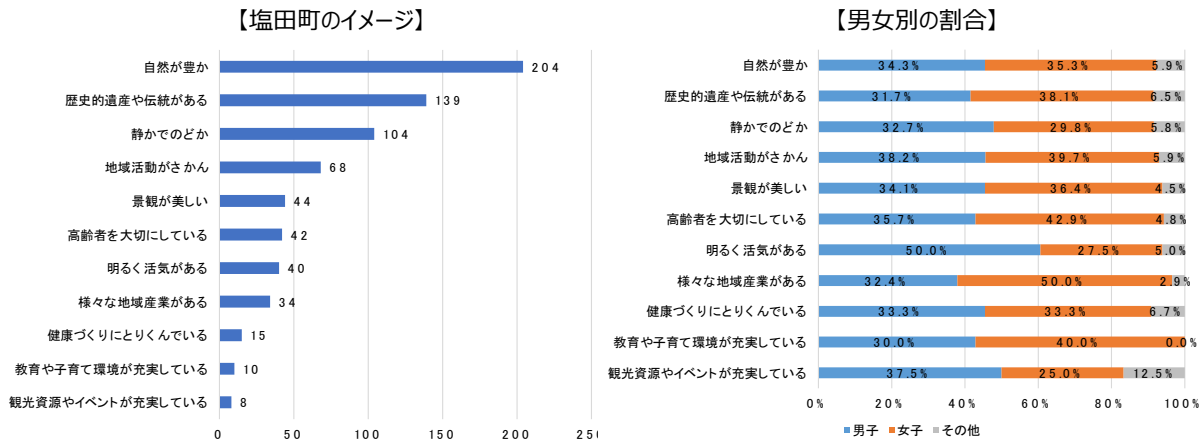


【女子の利用状況】



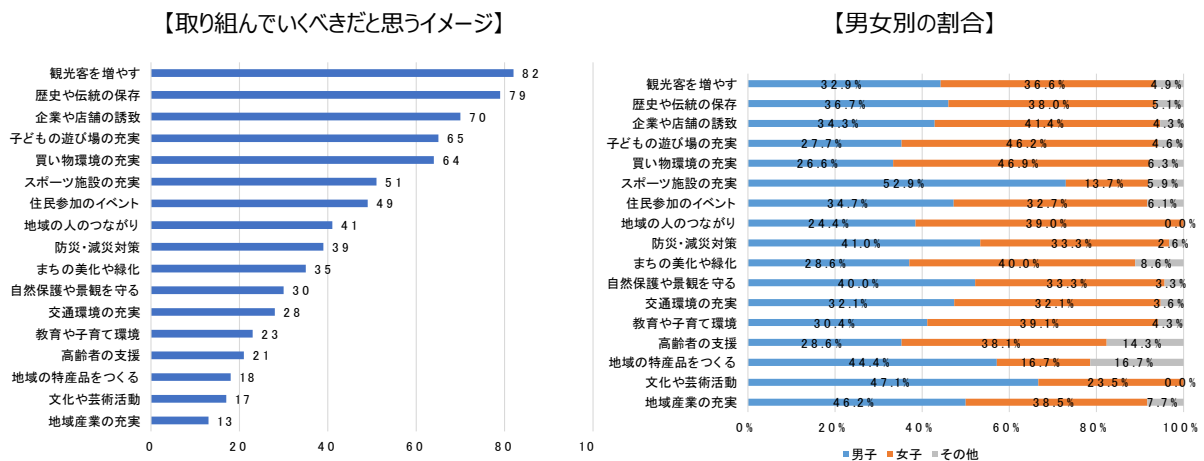
### (イ) 塩田町のイメージ

「自然が豊か」が最も多く、次いで「歴史的遺産や伝統がある」となっています。男女別の回答においては概ね同じ割合ですが、「明るく活気がある」については男子の割合が多く、「様々な地域産業がある」「教育や子育て環境が充実している」に関しては女子の割合が高くなっています。



### (ウ) 塩田町で特に取り組んで行くべきだと思うイメージ

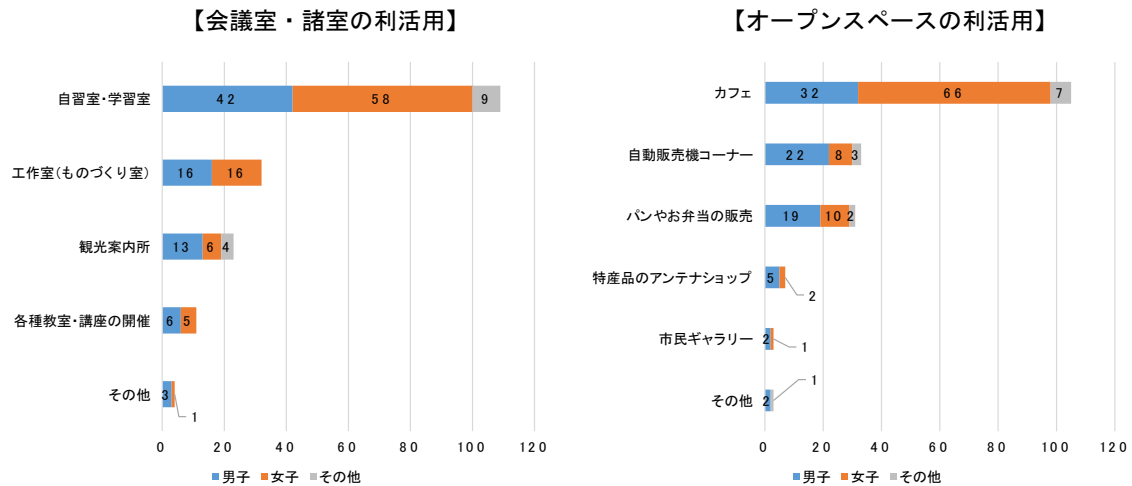
「観光客を増やす」が最も多く、次いで「歴史や伝統の保存」となっています。男女別の回答においては、男子では「スポーツ施設の充実」の割合が高く、次いで「文化や芸術活動」となっています。女子では「買い物環境の充実」の割合が高く、次いで「子どもの遊び場の充実」となっています。



## (工) 塩田庁舎の利活用

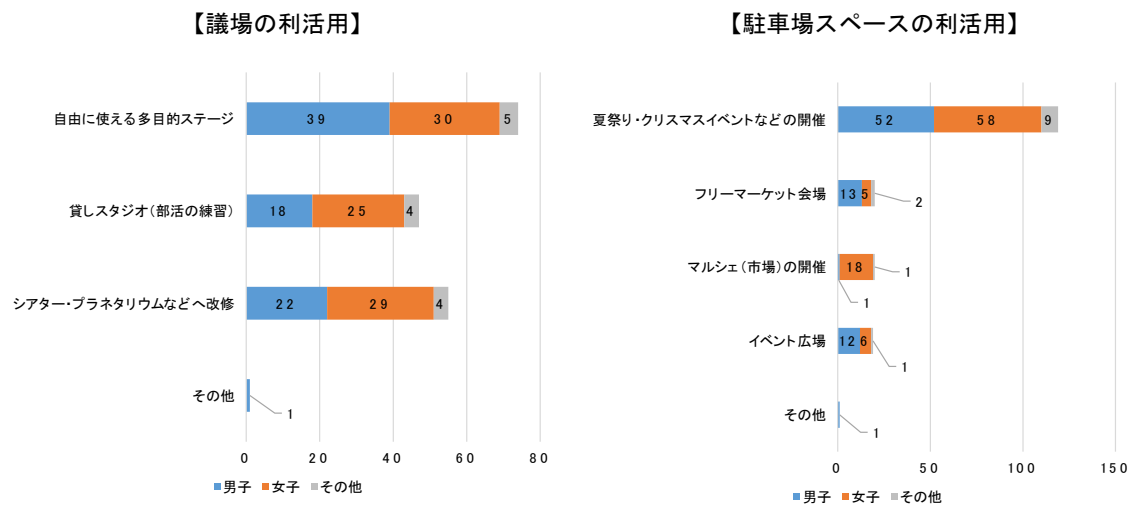
会議室・諸室の利活用については、「自習室・学習室」への活用が最も多く、男女別では女子の割合が高くなっています。次いで「工作室」となっています。

オープンスペースの利活用については、「カフェ」への活用が最も多く、女子の割合が高くなっています。次いで「自動販売機コーナー」となっています。「カフェ」以外ではいずれも男子の割合が高くなっています。



議場の利活用については、「自由に使える多目的ステージ」への活用が最も多く、男子の割合が高くなっています。次いで「貸しスタジオ（部活の練習）」となっていますが、こちらは女子の割合が高くなっています。

駐車場スペースの利活用については、「夏祭り・クリスマスイベントなどの開催」への活用が最も多く、次いで「フリーマーケット会場」となっています。男女別の回答においては、男子では「イベント広場」や「フリーマーケット会場」の割合が高く、女子では「マルシェ（市場）の開催」や「夏祭り・クリスマスイベントなどの開催」の割合が高くなっています。



※性別の無回答は除く

⑤ 中学生アンケートのまとめ

塩田庁舎及び周辺公共施設の利用状況は図書館の利用が最も多く、ほとんどの生徒が利用しています。また、塩田町のイメージは、「自然が豊か」で「歴史的遺産や伝統」などを感じています。

塩田町で特に取り組むべきだと思うイメージでは、「観光客を増やす」、「歴史や伝統の保存」、「企業や店舗の誘致」、「住民参加のイベント」など地域に目を向けると同時に、「子供の遊び場」、「買い物環境の充実」、「スポーツ施設」など生活環境の充実に関する意見が多くありました。

塩田庁舎の利活用では、会議室・諸室は「自習室・学習室」「工作室」など、オープンスペースは、「カフェ」「自動販売機コーナー」「パンやお弁当の販売」が多くありました。

議場は、「自由に使える多目的ステージ」、「シアター・プラネタリウム」、駐車場スペースは、「夏祭り・クリスマスイベントなどの開催」などイベント広場としての利用について意見が多くありました。

## 2. 市民ワークショップ

### 1) ワークショップ全体の目的

市民ワークショップは、「塩田庁舎と周辺施設を有効活用した、新しい時代に合ったまちづくりの方向性を明らかにする」ことを全体の目的として掲げ、これからの塩田町のまちづくりを考えた時に、庁舎及び周辺施設をどのように活用することが有効なのか、また、庁舎周辺の公共施設の保つ機能を再編・集約することで、より充実したサービスやにぎわいづくりを創出できないかなどについて考えるワークショップを開催しました。

### 2) ワークショップの構成

ワークショップは計3回実施し、ひとが集い、賑わうための工夫・アイデアや、そのために有効となる公共施設の機能、利活用のためのヒントとなるものについて話し合いました。3回の構成は以下となります。

#### 1回目 施設の現状を知る

- どのようなサービスがあるか
- サービスや施設の課題
- その他の課題

#### 2回目 地域のこれからを考える

- 充実してほしい場所やサービス

#### 3回目 塩田庁舎等の利活用

- 1・2回を踏まえ、どのような利活用が有効かまとめる

### 3) ワークショップの参加者

ワークショップの参加者は、多世代の意見が反映できるように「子育て」「健康」「中高生」「文化・伝統・芸術」「にぎわい創出」「地域交流」などのテーマを想定して、中学生以上を一般公募により募集し、26名の市民が参加されました。



第1回ワークショップ



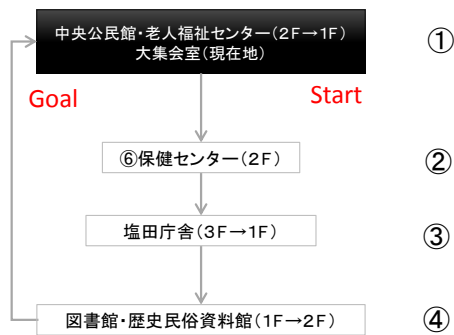
# 第 1 回「塩田庁舎と周辺施設を探検しよう！」

## プログラム

- 1 「施設探検に出かけよう！」
- 2 「探検して気づいたことを共有しよう！」

第 1 回目のワークショップは、塩田庁舎及び周辺施設の現状を知るということで、まずはそれぞれの施設でどのようなサービスが提供されているのか、そのサービスや施設の課題は何かあるかということを目的として、庁舎及び周辺施設を探検しました。探検においては施設ごとにサービスの概要や施設の間取りが記されたメモ用紙を持って施設の「良いところ」や「課題と思うところ」など記入してもらいました。

【探検ルートと探検の様子】



施設名： 塩田庁舎

【探検メモ用紙】

### ○ 施設の概要

1F 1Fの一部は、窓口サービスとして使用する予定です。丸い柱は構造的なもので取り外すことはできません。塩田庁舎には、エレベーターがあります。出入口は3か所。正面のほか、エレベーター機と別階方面にあります。庁舎内は、Wifi環境になっています。多機能トイレがあります。その他給湯室があります。

2F ほほづおア全城をオープンスペースとして活用できます。トイレ・給湯室があります。別階へつながる通路があり、別階は講堂・会議室になります

3F 会議室のほか、議場があります。トイレ・給湯室が2か所ずつあります。アーチ状の窓からの塩田の町を遠望できます。

駐車場 駐車場は、地下と地上にあります。庁舎統合に伴い、駐車スペースにもゆとりが出ます。

### ○ 施設探検メモ

サービスや施設の良い点や課題		その他気づいた点
良い点	課題と思うところ	

施設平面図



① 塩田庁舎及び周辺施設の良いところ、課題と思うところ

ワークショップでは主に塩田庁舎に関する意見が多く出されており、特に3階からの眺望など開放感や見晴らしの良い景色が展望できるところが良いという意見が多くありました。一方で庁舎と図書館とのつながりの薄さなどが課題という意見もありました。

中央公民館・保健センターでは、部屋の多さや居心地の良さといった空間に関して良いと思われる意見がありました。課題としては建物老朽化や設備に関するもの、また、照明の暗さなどの意見もありました。

図書館・歴史民俗資料館では、庁舎への図書機能の移設や資料館の拡張についての提案や、逆に今のままでも良いのでは、という意見もありました。

【ワークショップでの意見】

【良いところに関する意見】

- 塩田庁舎
  - ・ 庁舎3階からの眺望が良かった
  - ・ 小さな部屋が多く、いろいろな活用ができる
  - ・ 駐車場が広い
- 中央公民館/保健センター
  - ・ 座敷の居心地がよい
  - ・ 部屋が多い
  - ・ 小さな部屋は少人数で活用できる
- 図書館/歴史民俗資料館
  - ・ ワンフロアとして使える
  - ・ 利用者が多い
  - ・ 畳の部屋は避難スペースとして安心感がある

【課題と思うところに関する意見】

- 塩田庁舎
  - ・ トイレ、洗い場が狭い
  - ・ 椅子が劣化している
  - ・ 地下駐車場が暗い
- 中央公民館/保健センター
  - ・ 老朽化している
  - ・ 廊下が暗い
  - ・ 調理室の器具が古い
- 図書館/歴史民俗資料館
  - ・ 静かなので子どもを遊ばせるのに気を使う
  - ・ 収蔵物が眠っている

【要望・提案に関する意見】

- 塩田庁舎
  - ・ お年寄り、子どもがともに集える場所
  - ・ 会議室を貸しスペースに
  - ・ 議場はシアターとして使えそう
  - ・ 議場は塩田庁舎に残してほしい
  - ・ 郵便局を入れてほしい
  - ・ 路線バスの引き込み
- 中央公民館/保健センター
  - ・ 大幅な改修が必要
  - ・ 町、原町、町分区の集合公民館へ
  - ・ 間接照明をもっと入れてほしい
  - ・ 福祉センターの手摺を多くしたほうがいい
  - ・ 地域のコミュニティの場に
  - ・ 保健センターはそのままでよいと思う
- 図書館/歴史民俗資料館
  - ・ 図書スペースの充実
  - ・ イベントの規格
  - ・ 図書館を塩田庁舎や公民館へ移設して
  - ・ 歴史民俗資料館を拡張する
  - ・ そのままでもよい
  - ・ 資料館は民俗芸能の祭りの音楽を流す
- その他施設全体
  - ・ 水害対策
  - ・ 憩いの場がほしい
  - ・ 人の居場所を作りたい

## 第2回「地域の理想を語ろう！」

プログラム

- 1 「地域の理想を語る」
- 2 「理想と現実課題のギャップとは？」

第2回目のワークショップは、地域の理想を語るということをテーマに参加してもらいました。

### ① 将来、あなたはどのようになっていきたいですか？

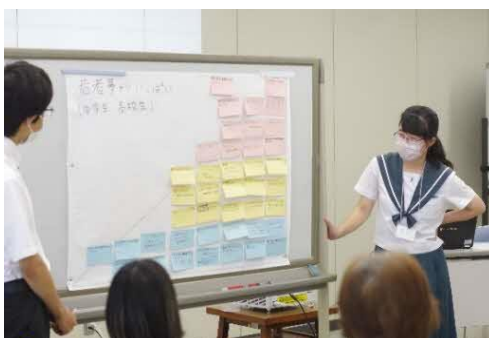
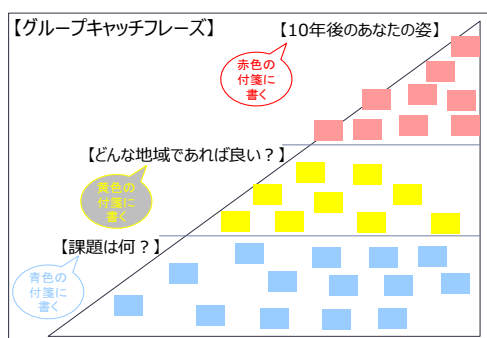
プログラム1では、地域の理想を語る上で、将来、あなたはその地域でどのようになっていきたいですか？まずは「自分」を主に置いて考えてもらいました。ただ、「自分」で考えるのが難しい場合は、周りの家族や親しい友人に当てはめてみて、この人だったらどうだろう、どうなって欲しいかな？といった視点で考えてもらいました。

### ② それを実現させるために、どんな「地域」であれば良い？

理想を実現させるためにはどんな「地域」であればよいか、あってほしいかということで、参加者の理想となる地域像を描いていただきました。

### ③ それを実現させるために、どんな「地域」であれば良い？

プログラム2では、みなさんが描いた「地域像」に対して、何が課題となるのか？例えば、同じ理想を持つ仲間を聞く機会や、使えるスペース、支援される制度の有無などといった、理想に対する課題を考えていただきました。



## ② 地域の理想及び理想と現実課題のギャップ

将来のあなたの姿に関しては、子どもとの触れ合いによる将来の姿や、仕事や技術を身につける自分の姿、いろんな人とのつながりを想像する姿など、グループごとで特徴のある意見が出されました。

地域に関しては、世代間交流ができる地域、学習がしやすい地域、災害が少ない地域など、塩田庁舎周辺の今後の将来につながるような意見も多くありました。

それらの課題として、多世代の意見を交わす場の不足や、働ける環境、支援制度の少なさ、学び・交流場所といったことをグループで取り上げ、それぞれのグループをイメージしたキャッチフレーズをつけて発表してもらいました。

### 【ワークショップでの意見】

#### 【将来のあなたの姿】

- 100歳以上、健康で生活している
- 仕事やボランティアに就いて活動している
- 孫や地域の子どもと遊んでいる
- 年収1,000万円
- 男性に負けない重機オペレーターになっている
- 畑仕事をしている
- 地域の居場所づくりに関わっている
- のんびり健康でいる
- 自分の得意なことを活かしている
- 多くの人と交流している
- 無理しすぎず適度に挑戦を続けている
- 子どもがキラキラ楽しく過ごしている
- 建築の技術を身に着けている
- 好きな趣味をやっている

#### 【どんな地域であれば良い？】

- いろんな人と関われる地域
- 子どもと一緒に遊べる地域
- 世代間交流がある地域
- 全天候型の遊びのスペースがある地域
- 災害が少ない地域
- 学習がしやすい地域
- 移住者が多い地域
- 交流の場が充実している地域
- 町並みに人が集まる地域
- 学べる場がある地域
- 古民家がある地域
- 子育てサポートが日本一充実している地域
- 楽しいイベント、持続可能なイベントがある地域
- 住んでいる人がしあわせな地域

#### 【課題は何？】

- 公共交通の不足（バス・電車）
- 中高生の交流の場が少ない
- 支援制度が少ない
- 小さな子どもが遊べる場所が少ない
- 観光名所が少ない
- 新しい施設を建設するスペースがない
- 空き家が多いが活用されていない
- 子どもの人口が少ない
- 買い物難民
- 地域魅力の情報が発信できていない
- 老人と子供の接点がない
- 働ける環境不足
- マンションなど多くの人が住める場所が少ない
- 移住体験できる施設が塩田津に1軒しかない

## 第3回「塩田地域に必要・充実させたい場所や機能を考えよう！」

プログラム

- 1 「必要/充実させたい機能や場を考えよう」
- 2 「どんな使い方ができるか考えよう」

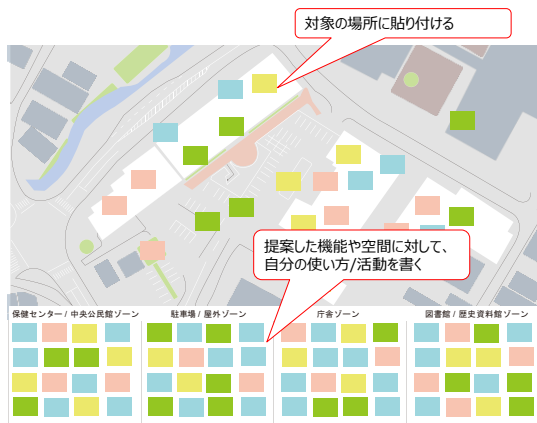
第3回目のワークショップは、塩田の地域に必要であり充実させたい場所や機能をテーマに参加してもらいました。

### ① 周辺施設を含めた配置図に機能や場を書き出す

プログラム1では、模造紙上の配置図に自分が考える、必要・充実させたい機能や場を貼ってもらいました。そこでは、必ずしも「場所」や「施設」だけではない、「サービス」という視点も含まれます。そして、施設、建物だけではなく、駐車場といった屋外のスペースも対象とし、4つのゾーンに区切って考えてもらいました。

### ② 提案した機能や場に対して自分はどんな活動をする？

プログラム2では、理想を実現させるためにはどんな「地域」であればよいか、あってほしいかということで、参加者の理想となる地域像を描いてもらいました。



③ 必要/充実させたい機能や場及びその使い方

必要・充実させたい機能として、保健センター/中央公民館ゾーンでは、宿泊施設や料理教室、観光案内所といった意見が多く、ジムや娯楽スペースなどの意見もありました。

駐車場/屋外ゾーンでは、公園やイベント会場といったオープンスペースとロータリーを活かしたバスターミナルやライドシェアといった交通に関する意見が多ありました。

庁舎ゾーンでは、行政窓口に加え、郵便局やジム、カフェスペースなどの施設誘致、そして、学習や子ども遊び場などの余裕スペースの利活用に関する意見が多ありました。

図書館/歴史民俗資料館では、学習スペースや資料の充実に加え、託児所やマンガ館などの意見もありました。

【ワークショップでの意見】

<b>保健センター/中央公民館ゾーン</b>	
<p>【必要/充実させたい機能・場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊施設</li> <li>・ スポーツセンター・サウナ・ジム</li> <li>・ 観光案内所</li> <li>・ 料理教室</li> </ul>	<p>【どんな使い方？】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友人に宿泊施設を紹介する</li> <li>・ マッサージと仮眠室を利用してストレス解消</li> <li>・ 塩田の魅力を宣伝する</li> <li>・ 子ども食堂の料理を作る</li> </ul>
<b>駐車場/屋外ゾーン</b>	
<p>【必要/充実させたい機能・場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園（カフェ・マルシェ）</li> <li>・ イベント会場</li> <li>・ 塩田津とつながる歩道橋</li> <li>・ バスターミナル</li> </ul>	<p>【どんな使い方？】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カフェで妻・子と遊ぶ</li> <li>・ フリマイイベントをする</li> <li>・ 歩道橋に案内看板を作り SNS にアップする</li> <li>・ 老人や車を利用できない人のサポート</li> </ul>
<b>庁舎ゾーン</b>	
<p>【必要/充実させたい機能・場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政窓口、郵便局</li> <li>・ 図書館</li> <li>・ 子育て・学習スペース</li> <li>・ レンタル会議室</li> </ul>	<p>【どんな使い方？】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来訪者の相談をすべて対応できる職員を配置</li> <li>・ 持ち寄り図書館で店番をする</li> <li>・ 三世代が遊べるスペースを作る</li> <li>・ 会議室を借りて仕事をする</li> </ul>
<b>図書館/歴史民俗資料館ゾーン</b>	
<p>【必要/充実させたい機能・場】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リスキングのスペース</li> <li>・ 児童・生徒の学習室</li> <li>・ 民俗資料の展示拡充</li> <li>・ フリーWi-Fi スポット</li> </ul>	<p>【どんな使い方？】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資格取得の勉強をする</li> <li>・ 子どもたちの居場所</li> <li>・ 塩田の歴史の勉強会</li> <li>・ 音楽を聴きながら勉強する</li> </ul>

#### ④ 市民ワークショップのまとめ

第1回の「施設探検」では、塩田庁舎に関する意見が多く出され、そのまま使える場所が多いという意見や、3階からの眺望など塩田庁舎の良さも再発見しました。

中央公民館・保健センターは、部屋の多さや居心地の良さといった意見がある一方で、建物老朽化や照明の暗さなど設備に関する要望や指摘も多く聞かれました。図書館・歴史民俗資料館では、庁舎への図書機能の移設や資料館の拡張についての意見が出されています。

第2回の「地域の理想を語る」では、「世代間交流ができる地域」、「学習がしやすい地域」、「災害が少ない地域」など、塩田庁舎周辺の将来につながるような意見も多くありました。それらの課題として「多世代の意見を交わす場の不足」、「働ける環境や支援制度の少なさ」、「学び・交流場所の充実」などが挙げられました。この回では各班の考え方を象徴するキャッチフレーズを考えて班の意見とともに発表しました。

第3回の「塩田庁舎周辺に必要・充実させたい機能」について、庁舎ゾーンでは、「行政窓口に加え、郵便局やジム、カフェスペースなどの施設誘致」や「学習や子ども遊び場など居場所の確保」、「余裕スペースの利活用」など、ソフト対策に関する意見が多くありました。保健センター/中央公民館ゾーンでは、保健センターは基本的にそのまま利用することを前提に「宿泊施設や料理教室、観光案内所」といった利活用や、「ジムや娯楽スペース」の設置などの意見もありました。駐車場/屋外ゾーンでは、「公園やイベント会場」といったオープンスペースとしての利活用やロータリーを活かした「バスターミナルやライドシェア」といった交通に関する意見が多かったです。図書館/歴史民俗資料館では、「学習スペースや資料の充実」に加え、「託児所やマンガ館」、「歴史民俗資料館は塩田津へ移設」などの意見もありました。

ワークショップの参加者へのアンケートでは、参加の動機として「塩田庁舎の利活用に関心があった」、「自分の良い経験になると思った」などが大半でした。

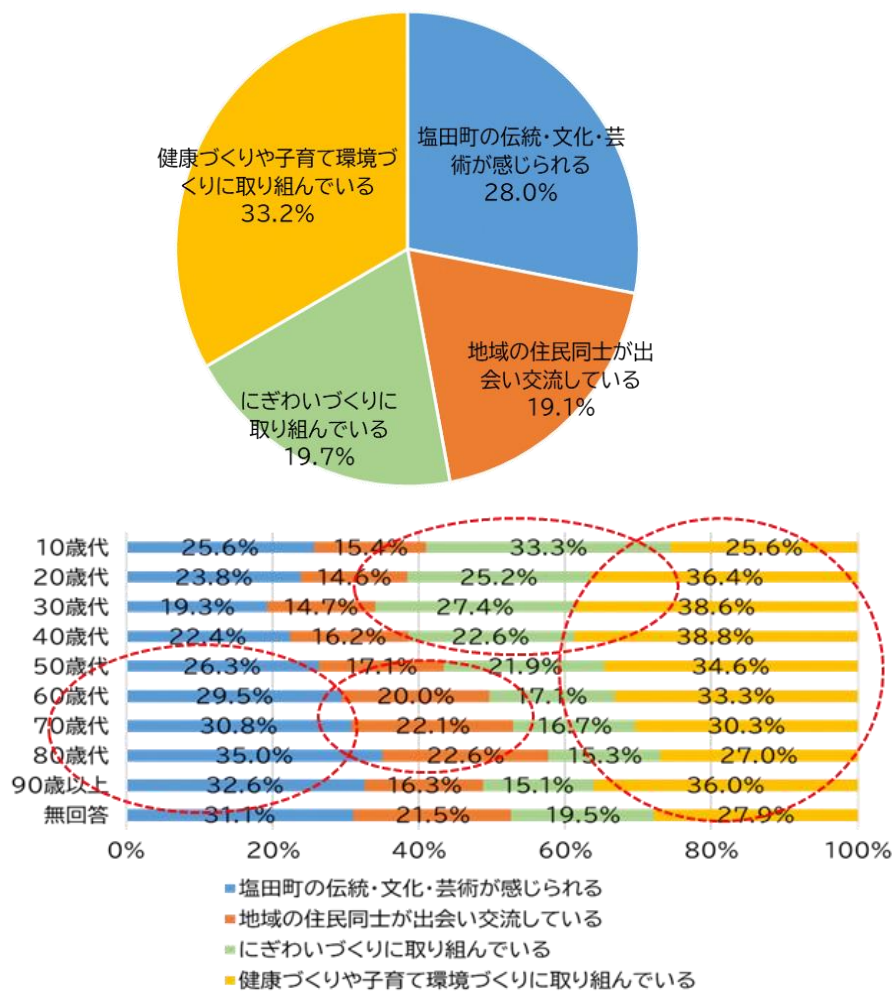
また、3回のワークショップを通じてほぼすべての参加者が「参加して良かった」という意見でした。その理由として「世代を超えていろいろな人の意見を聞いた」ことや、「それぞれの参加者が地域を良くしたいという思いがわかった」など、ワークショップの中で現実的で前向きな意見が多く出されていたことが要因だと思われます。今回のワークショップを通じて、「各グループで中学生・高校生との交流を望む声が多かった」ことや、「人と人のつながりが重要である」という意見は特に多く、将来を担う若い世代に良い環境を残していきたいという考え方はグループを超えて共通していたと思われます。

### 3. 市民アンケート及び市民ワークショップの分析

#### 1) 市民アンケートからワークショップへ

市民アンケートで回答のあった塩田町の将来像は、「健康づくりや子育て環境づくりに取り組んでいる」、「塩田町の伝統・文化・芸術が感じられる」で約 60%と割合が多いですが、「にぎわいづくりに取り組んでいる」や「地域の住民同士が出会い交流している」も一定数志向されており、それぞれに関心が高いことがわかります。

また、年齢別の内訳から、「健康づくりや子育て環境づくりに取り組んでいる」は年齢を問わず多いことや、「塩田町の伝統・文化・芸術が感じられる」及び「地域の住民同士が出会い交流している」は、年齢が高い層が志向しており「にぎわいづくりに取り組んでいる」は若い年代が志向している傾向が伺えます。



この結果より、市民ワークショップの実施にあたっては、「子育て」、「健康」、「文化・伝統・芸術」、「にぎわい創造」、「地域交流」などのテーマを掲げ、中学生以上を一般公募するとともに関係団体等に応募の声かけを実施しました。

また、塩田中学校及び嬉野高校塩田校舎へは直接参加をお願いしました。



## 2) 市民ワークショップ

市民ワークショップでは施設を実際に視察することから始め、「個人の集まりが地域を作っていく」という発想から、「〇〇してほしい」ではなく「自分ならこうしたい」という考え方で地域の理想を想定し、塩田庁舎及び周辺公共施設の利活用について意見を出し合いました。

第1回の施設探検では、塩田庁舎などでそのまま使える部屋が多い事や3階からの眺望など施設の再発見があった一方で、施設の老朽化や設備への改善要望も聞かれました。

第2回の「地域の理想を語るワークショップ」では、地域の理想では自分の将来からあるべき地域を考えることから、理想を実現するための課題を確認しました。

その中で、各班が作成したキャッチフレーズをもとに「塩田庁舎等利活用に係る地域の将来像」について整理を行いました。

### ○ 塩田庁舎等利活用に係る地域の将来像（各班のキャッチフレーズより）

未来は人。  
人と人がつながり、つながりつづけていく地域。  
人が住みたくくなるような健康で活力のある地域。若者が夢を語れる地域。

### ○ キャッチフレーズの具体的なイメージ

※ 〇〇してほしいではなく〇〇するという活動目線で表現

- 必要な情報が必要な人に届いていない。デジタル化は進めていくけど、やっぱり人がつないでいく。そのためには人を集めたり、人が集まる場所をつくる。そして、継続して人のつながりを作り続けていく。
- 生活者（住民自身）が生活しやすい環境で、多世代が健康でいられて、いつまでも学び続けられる地域をつくる。
- 子どもたちが自由に活用できる居場所を用意し、遊び・学習できる地域をつくる。
- 塩田川や塩田津などの地域資産を充実させて、活力がある、観光客や移住者に選んでもらえるような魅力的な地域をつくっていく。

さらに第3回のワークショップにおいて、「塩田地域に必要・充実させたい場所や機能を考える」をテーマに、塩田庁舎周辺を4つのゾーン（「保健センター/中央公民館ゾーン」、「駐車場/屋外ゾーン」、「庁舎ゾーン」、「図書館/歴史民俗資料館ゾーン」）に分けて、具体的な利活用について検討を行いました。

この中では、単に施設に必要な機能や機能再編のほか、塩田庁舎等周辺の交通環境の改善や、庁舎前駐車場の公園化（緑地化）などへの意見も多く出されたほか、塩田津との連携の重要性など、施設の位置づけに係る意見も出されました。

### 3) 市民アンケート及び市民ワークショップの分析

市民アンケート及び市民ワークショップの分析結果をもとに、塩田庁舎等利活用基本構想を作成するにあたっての条件を以下のように整理しました。

- 市民アンケート及び市民ワークショップの分析から「行政窓口機能」に加え「子育て支援機能」「市民活動機能」「教育・学習機能」「伝統・文化・芸術活動機能」「健康・福祉支援機能」「出会い・交流機能」「にぎわい創出・活性化機能」など総合的な機能を持った施設整備が求められている。
- 「健康づくり・子育て環境づくり」では、健康維持・増進のための健康施設や保健・健康・子育てに関して一体的に利用できるサービスを求める意見が多い。
- 「にぎわいづくり」では、「集客施設への活用」「産業振興施設への活用」や企業や店舗の誘致への意見が多い。
- 「伝統・文化・芸術」では、塩田町の伝統・文化・芸術の体験や住民が中心となった文化芸術活動への意見が多い。
- 「出会い・交流」は、住民が参加するイベントや催し物の開催や地域の多世代が交流することへの関心が高く、市内外から人が訪れる交流を望む声も多い。
- 災害対応として、避難所機能の充実への要望が多い。
- その他、塩田庁舎等への交通環境や塩田庁舎前駐車場の公園・緑地化の可能性も含めた再整備の検討が求められている。

これらの要望へ対応するためには、個々の施設の個別の利用の在り方を超えて、塩田庁舎及び周辺公共施設を一体として整備する必要があると同時に、リパティや楠風館など類似・代用機能を持つ施設も含めた総合的な機能再編の検討や、塩田津との連携効果の検討なども併せて行う必要があると思われます。